



校長だより

日中丸



第28号
R2. 2. 7

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

小中合同「読み聞かせ」の会 1.22(水)

小中連携の一環として、中学生による小学生への読み聞かせを行いました。今年度の2回目の活動です。今回は図書委員だけでなく、ボランティアの生徒たちも参加しました。それぞれの学年に合った本を数冊用意し、その中から小学生が選んだ本を読み聞かせました。何度か読む練習をして当日に臨みました。丁寧に読み聞かせをする姿が印象的でした。



榎山先生研究授業 1.28(火)

1年英語で研究授業を行いました。今日の学習のめあては「過去形の疑問文と応答文を理解しよう」です。

”Did you watch TV?” “Yes, I did. I watched TV./No, I didn’t. I didn’t watch TV.”

過去形の疑問文と応答文を使ってペアで繰り返し練習したり、英文で書いたものを確認したりしました。次の時間に“Battle Ship Game”を行うという目標もあり、それに向けて大変意欲的に取り組んでいました。



英語交流授業 2.6(木)

1年生が小学6年生の教室へ出かけ、交流授業を行いました。英語「Presentation 3 思い出の行事」の一環として、中学校生活や自分たちの趣味などを英語で6年生に紹介する学習です。昨年度は“話を聴く側”だった1年生が、今度は“英語で伝える側”に立場が変わりました。1年間の英語学習の成果を発揮し、堂々と発表する姿に成長を感じました。



入学説明会 1.28(火)

令和2年度入学の小学6年生とその保護者を対象に「入学説明会」を開催しました。本校の教育活動の説明や授業参観を行いました。様々な説明を真剣に聞いたり、活発に話し合われている授業の様子に見入ったりしていました。

4月には本校に入学してきます。残り2か月あまりの小学校生活を楽しみ、希望を胸に入学してきてほしいものです。



朝会より 2.3(月)

生徒発表（2月のテーマ：一年を振り返って）

宮地惟楨さん（1年）

4月の頃と今の自分を比べると、僕は人の話をよく聞けるようになりました。4月の頃は大事な話を聞いていなかったり、先生の話聞いていなかったりしたことがありました。しかし、今の自分は大事なことや先生の話時々聞き逃してしまうことはあるけれど、4月の自分と比べたら話が聞けるようになったと思います。

もう一つ、4月の頃と比べてできるようになったことがあります。それは、自分の意見を言うことです。小6の時や4月の頃は自分の意見をなかなか言えなかったけれど、今は時々言えない時もあるけれど、小6の時や4月の頃に比べたら自分の意見が言えるようになってきました。でも、まだまだ言えない時もあるので、これからは、自分の意見を言うように努力していきたいです。

鈴木あおいさん（2年）

私は今年を振り返って、自分を成長させることができた1年だったし、とても楽しい1年でした。

後輩ができて太鼓や部活動で教える立場になったり、級長をやってみんなの前で話す機会が多くなったりして、自分自身をとっても成長させることができた1年だったと思います。

また、テストで点数はあまり変わらなかったけれど、1年生のころよりも勉強時間が長くなったと思います。それも一つの成長だと思います。

3年生になったら受験生になるので、今のうちに勉強になれておきたいです。

また、3年生があと少しで卒業してしまうので、3年生とたくさん思い出をつくりたいです。

鈴木好生さん（3年）

僕には1年を振り返って印象に残っていることが2つあります。

1つ目は、修学旅行です。修学旅行では、ディズニーランドやスカイツリーに行きました。とても楽しい修学旅行になりました。

2つ目は、部活動の引退です。最後の郡大会では、惜しくも負けてしまいましたが、友達や後輩たちと最後までバレーをすることができてとてもよかったです。

この1年は、たくさん成長できた年でした。

来年からは高校生なので、3年間で学んだことを生かしていきたいです。

校長の話

今日は、たいへんうれしい報告をします。

1月15日に、こんな賞状をいただきました。全国で126団体が表彰されたうちの、一つに選ばれました。

これは、日間賀中学校が、地域や様々な人たちと一緒に、日間賀島をよくしていこうと取り組む中で、君たち日間賀中学校の生徒が自分自身の生き方について、「気づき 考え 行動する」ことができたという取組が評価されたものです。日間賀サミットや日間賀島のPR活動、漁業体験など、様々な活動をしてきたことが評価されたのです。たいへんうれしいですね。君たちが島のことを想って取り組み、成長してきた証だと思います。

これからも、引き続き、島のため、日中のため、そして、自分自身のために、がんばっていきましょう。

こんな話をしました。

